

内視鏡センターにおける学生実習の充実 ～指導項目チェックリストを作成して～

社会医療法人製鉄記念八幡病院

○都留美登里 村上真有 小野美登利 井上聖

【研究目的】

当院は、看護学校を併設しており 2 年生は外来実習の一環として内視鏡センターで 1 日の見学実習をしている。内視鏡センターのスタッフは正社員 4 名、パート職員 6 名で、学生指導の経験がないスタッフもあり実習に対する捉え方・指導内容も異なると考えられた。学生指導の担当者は業務に応じて決めているため実習指導者に限っていない。そのため、昨年度の実習記録では指導者によって学生の実習記録から学びに相違がみられた。そこで今年度、看護学校の作成している指導要項・看護技術の経験リストを元にして内視鏡センターの実習指導案を見直し、指導者が変わっても一貫した指導ができるように指導者用チェックリストを作成することとした。

【方法】

- ① 指導内容の統一を図るため指導案に沿った指導項目のチェックリストを作成
- ② 学生の記録（指導者用チェックリストからキーワードを決め、指導者がキーワードを説明できたか、それが学生の記録に反映されているかを調べる）の確認
- ③ スタッフへのアンケート
- ④ 期間 平成 28 年 4 月～平成 30 年 2 月

【結果】

指導内容の統一を図るため指導案に沿った指導項目チェックリストを作成し学生指導の担当者全員が使用しながら指導を行った。チェックリストでの指導方法の状況はアンケートにて意見を聞き、指導しやすくなったとの意見が全員から聞かれた。学生の記録内容も相違が減少した。

【考察】

外来は、病棟経験や学生指導の経験のないスタッフがあり、その経験値は様々である。チェックリストの内容はスタッフからの意見を元に、指導項目ごとに内容を見直し指導内容を詳細に明記したチェックリストを作成した。それにより内容の統一が図れ、担当者が指導内容を迷わずに学生指導がおこなえるようになった。

【結論】

今回、このチェックリストを作成することでスタッフの学生指導への認識が高まった。今回は指導を受ける学生の意見を聞く機会はなかったが、今後学生の意見を聞き改善していきたい。